

向こう 1 か月の天候の見通し

北陸地方（12 月 18 日～1 月 17 日）

新潟地方気象台

予報のポイント

- 2 週目は気温がかなり低くなり、降雪量がかなり多くなる可能性があります。
- 寒気の影響を受けやすいため、向こう 1 か月の気温は低いでしょう。
- 冬型の気圧配置となりやすいため、向こう 1 か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少なく、降雪量が多いでしょう。

1 か月の平均気温・降水量・日照時間・降雪量

	平均気温（1 か月）	降水量（1 か月）	日照時間（1 か月）	降雪量（1 か月）
北陸地方	低 50 並 30 高 20% 低い 見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 20 並 30 多 50% 多い 見込み
数値は予想される出現確率です				

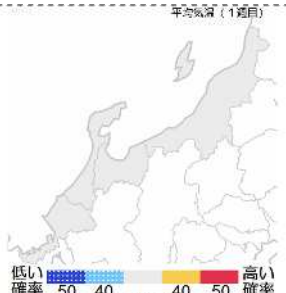
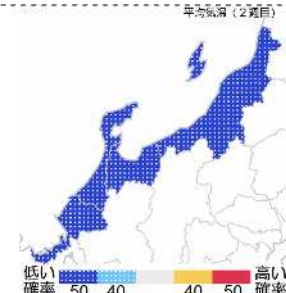
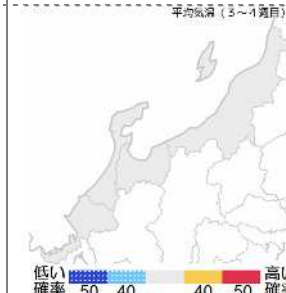
週別の天候

（1 週目） 12 / 18 ~ 24	（2 週目） 12 / 25 ~ 31	（3～4 週目） 1 / 1 ~ 14
冬型の気圧配置となりやすいため、平年に比べ曇りや雪または雨の日が多いでしょう。	冬型の気圧配置となりやすいため、平年に比べ曇りや雪または雨の日が多いでしょう。	冬型の気圧配置の影響で、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。

明日から 1 週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報（<https://www.jma.go.jp/bosai/forecast/>）を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

週別の平均気温

	平均気温（1 週目） 12 / 18 ~ 24	平均気温（2 週目） 12 / 25 ~ 31	平均気温（3 ~ 4 週目） 1 / 1 ~ 14
北陸地方	低 30 並 50 高 20% 平年並 の見込み	低 60 並 30 高 10% 低い 見込み	低 40 並 30 高 30% ほぼ平年並 の見込み
数値は予想される 出現確率です	平均気温（1 週目）  低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%)	平均気温（2 週目）  低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%)	平均気温（3 ~ 4 週目）  低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%)

ほかの地点の気温（実況と予想）グラフは、
気象庁ホームページ
<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcast/tjikeiretu/index.php>
で公開しています。

予想の気温は、週別の平均的な気温の見込みを黒い太線で表しています。信頼の程度が 40% の幅を濃い網掛けで、70% の幅を薄い網掛けで示しています。今年、昨年の実況は 7 日平均気温です。

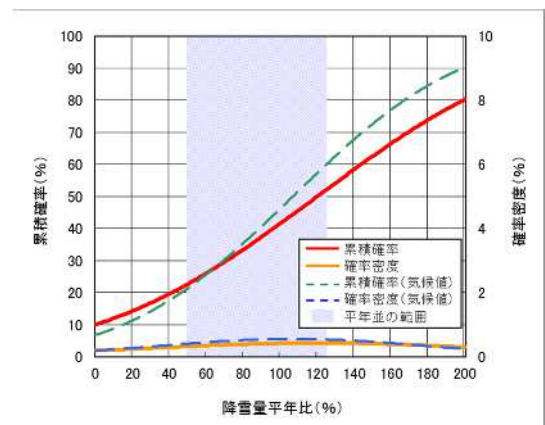


山地（山沿い、山間部）の降雪量（1 か月）

向こう1か月の、北陸地方山地（山沿い及び山間部、ただし石川県能登地方の山地を除く）の降雪量は、

少ない：20%、平年並：30%、多い：50%で
多い見込みです。

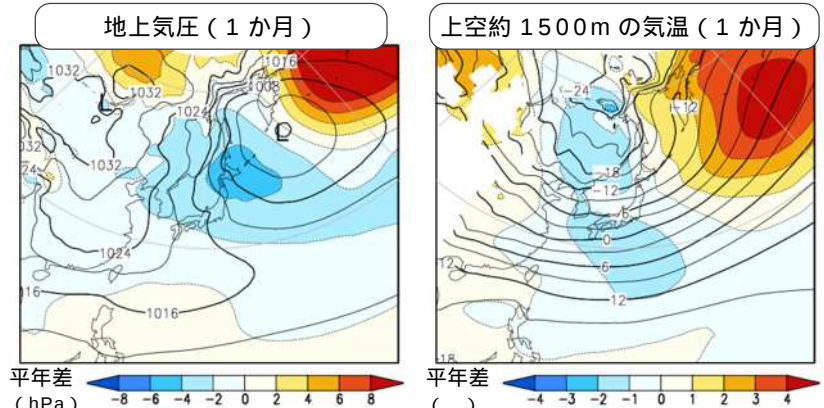
「山地（山沿い、山間部）の降雪量の見通し」は、北陸地方の山地（石川県能登地方の山地を除く）の向こう1か月の降雪量を、平年比で予想します。右図の見方の解説や平年値などを、下記リンクに掲載しています。
<https://www.data.jma.go.jp/niigata/data/yamayuki.pdf>



数値予報モデルによる予測結果

1 か月平均の地上気圧（左図）は、アリューシャン低気圧は平年に比べて西側で強い一方、バイカル湖付近から華南付近は相対的に高気圧が強い予測となっており、全国的に冬型の気圧配置となりやすいでしょう。

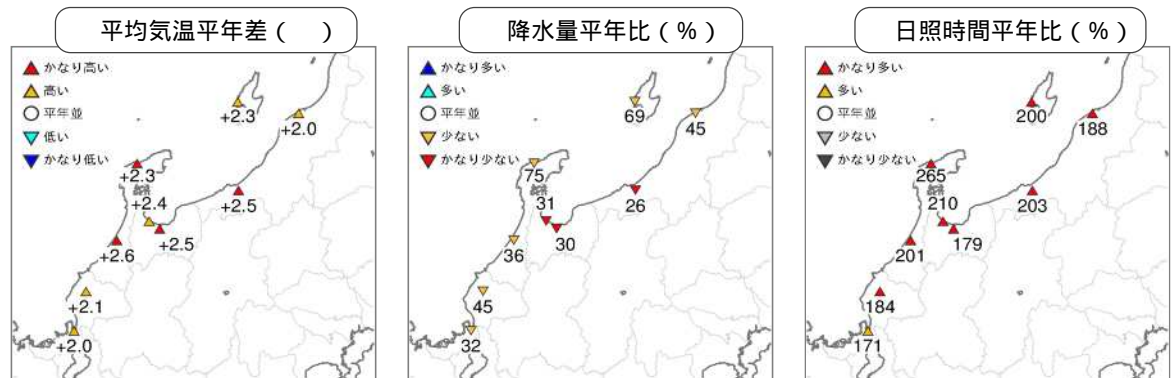
上空約 1500m の気温（右図）は、寒気が南下しやすいことに対応して、バイカル湖の東から日本付近で平年より低くなっています。



季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のパラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

最近 1 週間の天候経過（実況） 12/9～15

冬型の気圧配置は一時的で降水量はかなり少なくなり、移動性の高気圧に覆われ晴れた日が多くなったため、日照時間はかなり多く、平均気温がかなり高くなりました。



（実況）12/9～15	平均気温平年差（°C）	降水量平年比（%）	日照時間平年比（%）	降雪量平年比（%）
北陸地方	+2.3（かなり高い）	43%（かなり少ない）	200%（かなり多い）	0%（かなり少ない）

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温（1 か月）	降水量（1 か月）	日照時間（1 か月）	降雪量（1 か月）
北陸地方	平年差：-0.5～+0.8	平年比：86～107%	平年比：90～110%	平年比：51～127%
新潟	3.3～4.3	146.5～182.8mm	46.5～58.7 時間	14～42cm

	平均気温（1 週目）	平均気温（2 週目）	平均気温（3-4 週目）
北陸地方	平年差：-0.8～+1.0	平年差：-0.8～+0.8	平年差：-0.7～+0.7
新潟	4.0～5.6	3.4～4.8	2.5～3.6

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1991～2020 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」、「平年並」、「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11～20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、およそ「平年並」の範囲としています。また、実況の分布図にある「かなり高い（多い）」などは、高い（多い）方から 3 番目までの値に相当します。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	1 か月		1 週目		2 週目		3～4 週目	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
新潟	4.7 日	18.9 日	1.3 日	4.7 日	1.2 日	4.6 日	2.1 日	9.6 日

「晴れ日数」は「日照時間が日照時間の 40% 以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量 1mm 以上」の日数です。この 2 つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解 説
高い（多い）確率が 50% 以上 （20：40：40）	高い（多い）見込み 平年並が高い（多い）見込み
平年並の確率が 50% 以上 （40：30：30）（30：40：30）（30：30：40）	平年並の見込み ほぼ平年並の見込み
低い（少ない）確率が 50% 以上 （40：40：20）	平年並が低い（少ない）見込み 低い（少ない）見込み